

MBC ラジオ『ココが聞きたい！ドクタートーク』2024.12.14
第 1128 回放送分『泌尿器科疾患』2 回目
ゲスト：榎田英樹ドクター

二見いすず

今月のドクタートークは、「泌尿器科疾患」をテーマにお送りしています。
お話は、鹿児島大学病院 泌尿器科の 榎田英樹（えのきだ ひでき）ドクターです。
榎田さん、どうぞよろしくお願ひいたします。

榎田英樹Dr.

よろしくお願ひいたします。

二見いすず

先週は、前立腺肥大症についてお話しいただきました。
高齢男性のほとんどが前立腺肥大症に当てはまるということ。
そして初期の症状は夜間頻尿で、夜中に2回以上トイレに行く方は、
一度泌尿器科を受診した方がいいということでした。
さて今週は、何についてお話しいただけますか？

榎田英樹Dr.

今週は、前立腺がんについてお伝えします。
実は男性のがん罹患数で1番多いのが、この前立腺がんです。

二見いすず

そうなんですね。胃がんや大腸がんだと思っていました。

榎田英樹Dr.

国立がん研究センターの統計によると、2017年以降ずっと1位で、
多くの方が前立腺がんになっていることが分かります。
しかし予後はよく、5年生存率98%で適切な治療を行えば
ほかのがんに比べて生存率は高いと言えます。

二見いすず

前立腺がんにかかる人は多いものの、生存率が高いのなら
少しだけ安心できますね。

榎田英樹Dr.

はい。しかし全体の1割の方は診断時に転移があり、
5年生存率はおよそ半分になってしまうので
その点は注意が必要です。

二見いすず

半分にまで下がってしまうんですね。

ということはやはり、早期発見、早期治療が大切になってきますね。

榎田英樹Dr.

そうです。早期発見のためにおすすめしたいのが、PSA 検査です。

二見いすず

PSA 検査とはどういうものですか？

榎田英樹Dr.

血液検査によって、PSA、前立腺特異抗原の値を調べる検査です。

ぜひ 50 歳を過ぎたら検査していただきたいです。

二見いすず

これは人間ドックなどで検査できるものでしょうか？

榎田英樹Dr.

できますが、オプションとなって 2000 円ぐらいかかります。

泌尿器科の病院に行くと、保険が使えて 600 円ほどで検査できます。

二見いすず

分かりました。もしこの PSA 検査をして、数値が悪かったら

次はどのような検査をするのですか？

榎田英樹Dr.

MRI という画像検査、そして針生検で癌の有無を確認します。

悪性度の高い組織が見つかったら、基本的に手術をすすめます。再発しても追加で放射線治療ができるますので、2 回直すチャンスがあります。この順番はとても大切で、放射線治療のあとの手術は危険なんです。

二見いすず

そうなんです。どうしてでしょうか？

榎田英樹Dr.

放射線は目に見えませんが、やけどを起こして治すような治療で、治療後に前立腺の周りに癒着が起こります。これを手術で無理やりはがすと前立腺の後ろの直腸に穴があくおそれがあり、一生、人工肛門になってしまう可能性があります。

しっかりと専門の医師に診断と治療をしてもらうようにしましょう。

二見いすず

よく分かりました。

今月は、「泌尿器科疾患」をテーマにお送りしています。

お話は、鹿児島大学病院 泌尿器科の 榎田英樹ドクターでした。

榎田さん、ありがとうございました。

榎田英樹Dr.

ありがとうございました。